

IV 女性の社会参画

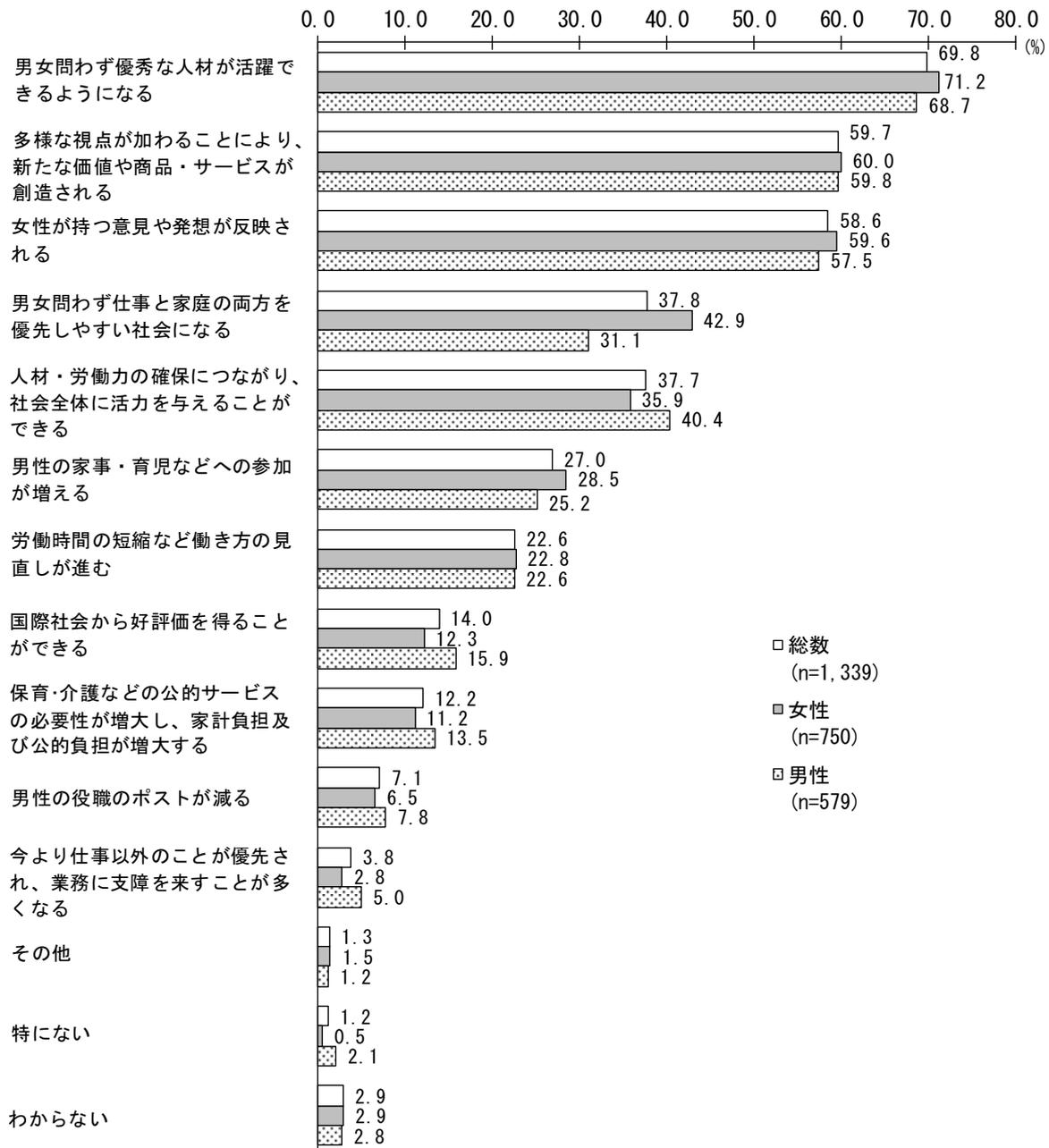
1 女性のリーダーが増えるとどのような影響があると思うか

問17 あなたは、社会の各分野で、女性の参加が進み、女性のリーダーが増えるとどのような影響があると思いますか。(〇はいくつでも) [今年度新規調査項目]

全体では、男女ともに、「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」(女性71.2%、男性68.7%)が最も多く、次いで、「多様な視点が加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される」(女性60.0%、男性59.8%)、「女性が持つ意見や発想が反映される」(女性59.6%、男性57.5%)の順となった。

男女の差が大きいものとして、「男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる」では女性(42.9%)が男性(31.1%)を11.8ポイント上回っている。

図17-1 女性のリーダーが増えるとどのような影響があると思うか 項目別一覧 (性別)



【年代別】

男女共に、全ての年代で「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」が最も多くなっている。

【「男は仕事、女は家庭」への賛否別】

いずれの層でも「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」が最も多くなっている。

図 17-2 女性のリーダーが増えるとどのような影響があると思うか 項目別一覧
(年代別、「男は仕事、女は家庭」への賛否別)

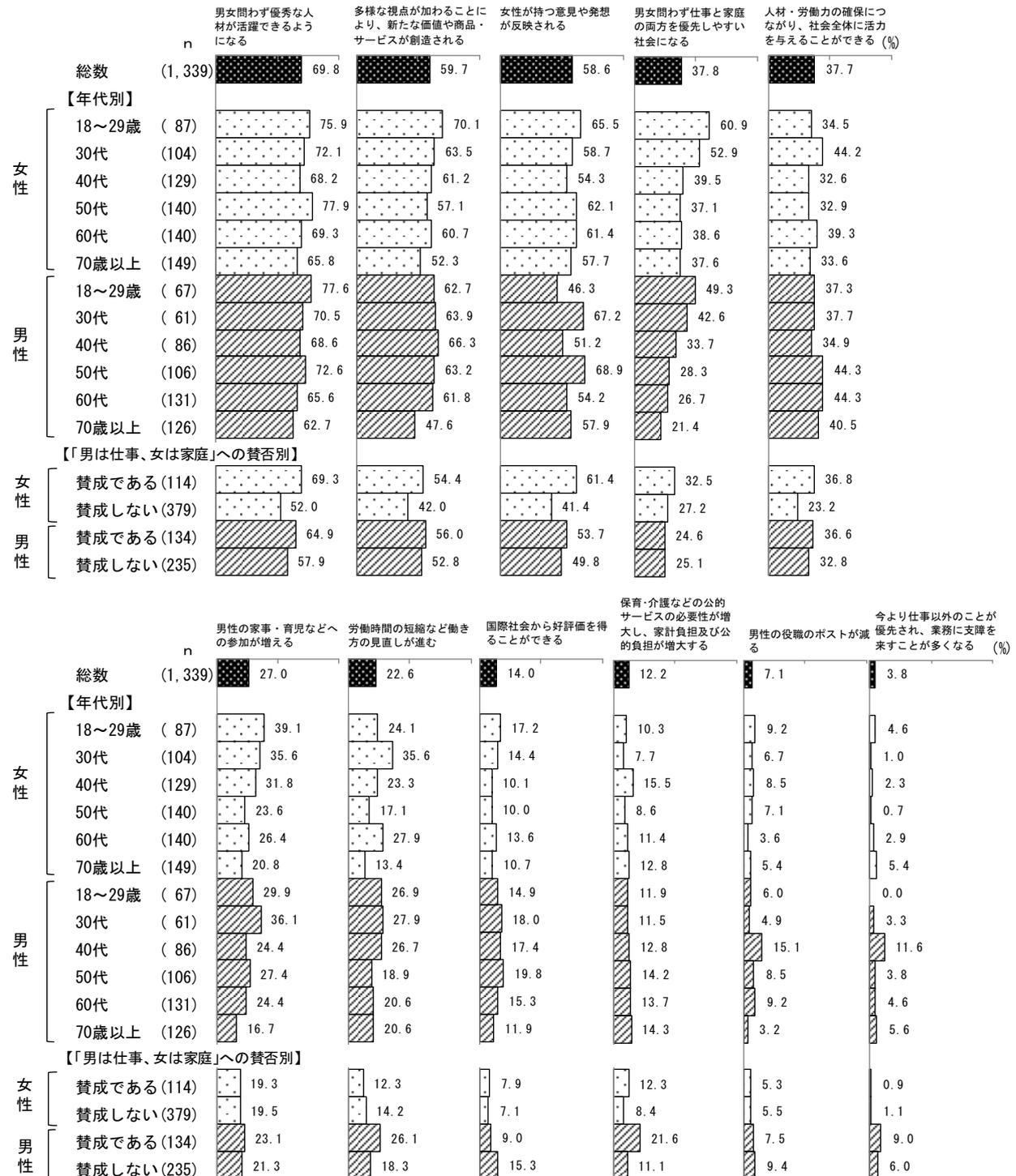


図17-3 女性のリーダーが増えるとどのような影響があると思うか 項目別一覧
(性・未既婚別)

(単位：%)

		サンプル数	男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる	多様な視点が加わることで、新たな価値や商品・サービスが創造される	女性が持つ意見や発想が反映される	男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる	人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる	男性の家事・育児などへの参加が増える	労働時間の短縮など働き方の見直しが進む	
全体		1,339	69.8	59.7	58.6	37.8	37.7	27.0	22.6	
性×未既婚別	女性	有配偶者	553	70.2	58.6	59.1	41.8	35.6	27.5	22.4
		離死別	61	70.5	50.8	59.0	41.0	34.4	32.8	24.6
		未婚	134	76.1	69.4	61.2	49.3	37.3	31.3	23.9
	男性	有配偶者	428	70.3	59.8	59.1	28.7	42.3	23.6	22.4
		離死別	26	65.4	65.4	53.8	15.4	30.8	23.1	15.4
		未婚	124	64.5	58.9	53.2	42.7	36.3	31.5	25.0

(単位：%)

		サンプル数	国際社会から好評価を得ることができる	保育・介護などの公的サービスの必要性が増大し、家計負担及び公的負担が増大する	男性の役職のポストが減る	今より仕事以外のことが優先され、業務に支障を来すことが多くなる	その他	特になし	わからない	
全体		1,339	14.0	12.2	7.1	3.8	1.3	1.2	2.9	
性×未既婚別	女性	有配偶者	553	12.1	12.1	6.7	2.9	1.8	0.4	2.7
		離死別	61	11.5	11.5	6.6	3.3	0.0	0.0	3.3
		未婚	134	13.4	7.5	6.0	2.2	0.7	1.5	3.7
	男性	有配偶者	428	13.8	14.0	6.5	5.1	0.7	1.9	1.2
		離死別	26	26.9	11.5	11.5	3.8	3.8	0.0	3.8
		未婚	124	21.0	12.1	11.3	4.8	2.4	3.2	7.3

※グレーのセルは属性中トップの項目

2 女性が方針決定の場に参画するために必要なこと

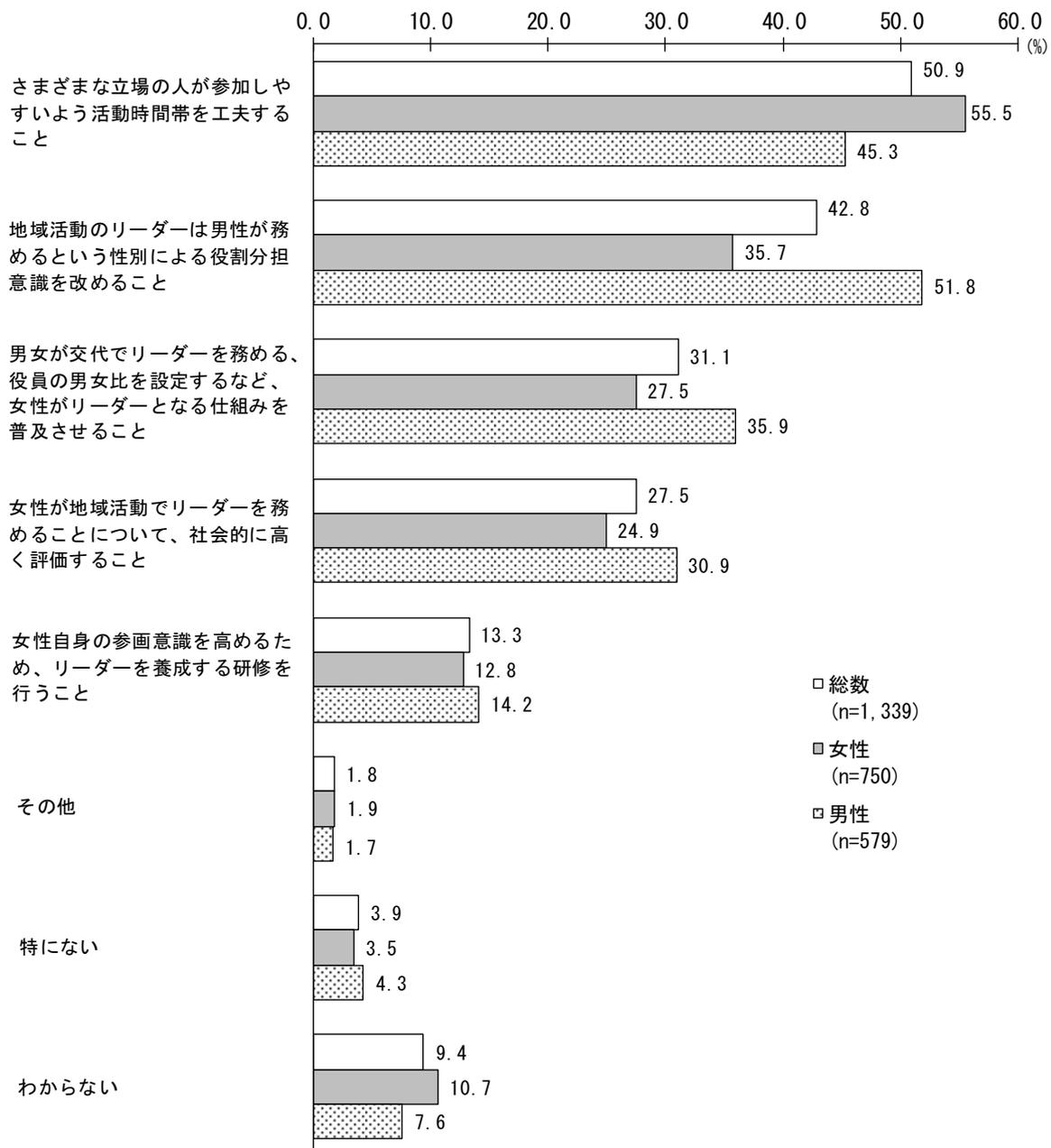
問 18 あなたは、自治会やPTA、自主防災組織などの地域活動において、女性が方針決定の場に参画するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

[今年度新規調査項目]

女性では、「さまざまな立場の人が参加しやすいよう活動時間帯を工夫すること」(55.5%)が最も多く、次いで「地域活動のリーダーは男性が務めるという性別による役割分担意識を改めること」(35.7%)となっている。

男性では「地域活動のリーダーは男性が務めるという性別による役割分担意識を改めること」(51.8%)が最も多く、次いで「さまざまな立場の人が参加しやすいよう活動時間帯を工夫すること」(45.3%)となっている。

図18-1 女性が方針決定の場に参画するために必要なこと 項目別一覧 (性別)



【年代別】

女性では全ての年代で「さまざまな立場の人が参加しやすいよう活動時間帯を工夫すること」が最も多くなっている。

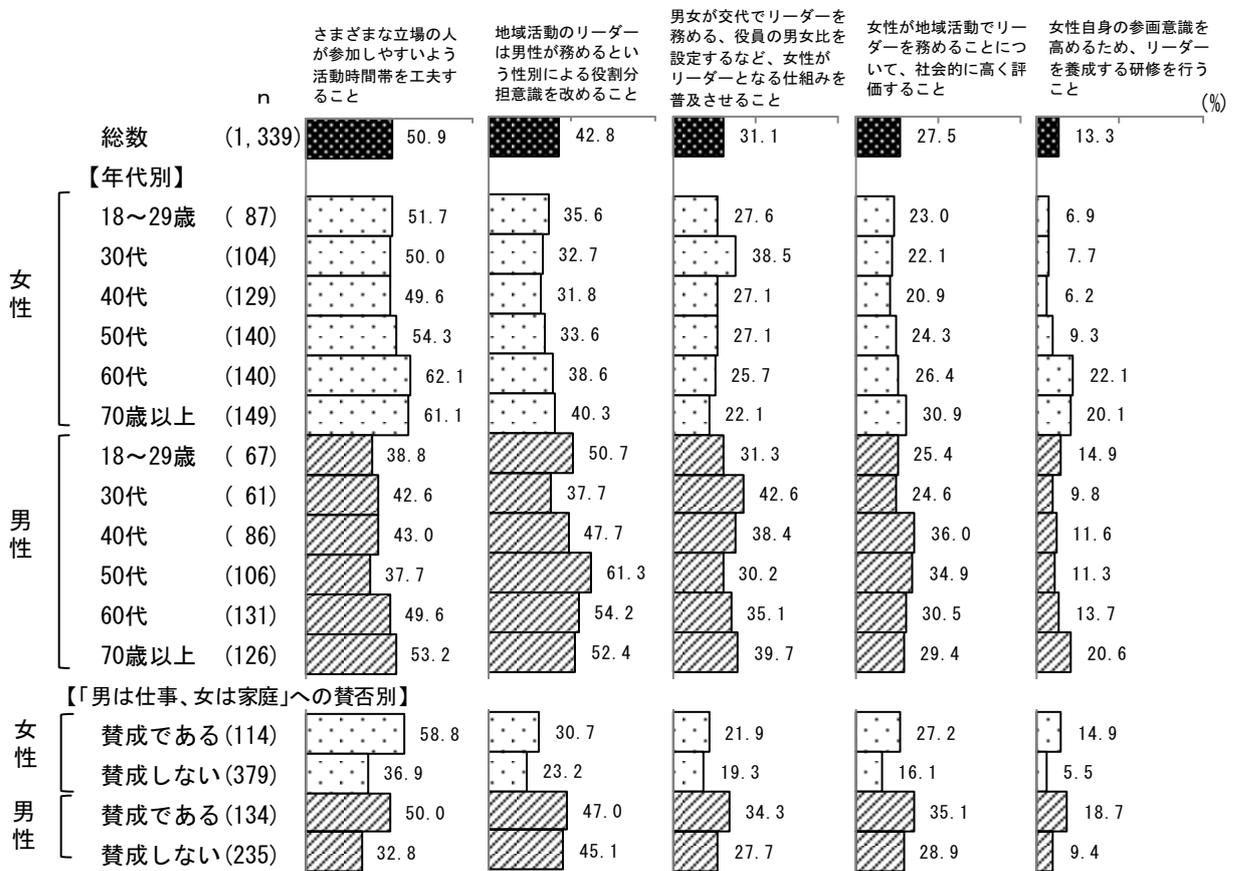
【「男は仕事、女は家庭」への賛否別】

女性では、いずれの層でも「さまざまな立場の人が参加しやすいよう活動時間帯を工夫すること」が最も多くなっている。

男性では『賛成である』では「さまざまな立場の人が参加しやすいよう活動時間帯を工夫すること」が最も多く、『賛成しない』では「地域活動のリーダーは男性が務めるという性別による役割分担意識を改めること」が最も多くなっている。

図18-2 女性が方針決定の場に参加するために必要なこと 項目別一覧

(年代別、「男は仕事、女は家庭」への賛否別)



【地域別】

女性では、いずれの地域でも「さまざまな立場の人が参加しやすいよう活動時間帯を工夫すること」が最も多くなっている。

男性では、能登北部以外で「地域活動のリーダーは男性が務めるという性別による役割分担意識を改めること」が最も多くなっている。

【未既婚別】

女性では、いずれの層でも「さまざまな立場の人が参加しやすいよう活動時間帯を工夫すること」が最も多くなっている。

男性では、いずれの層でも「地域活動のリーダーは男性が務めるという性別による役割分担意識を改めること」が最も多くなっている。

図18-3 女性が方針決定の場に参加するために必要なこと 項目別一覧

(性・地域別、性・未既婚別)

		サンプル数	さまざまな立場の人が参加しやすいよう活動時間帯を工夫すること	地域活動のリーダーは男性が務めるという性別による役割分担意識を改めること	男女が交代でリーダーを務める、役員の男女比を設定するなど、女性がリーダーとなる仕組みを普及させること	女性が地域活動でリーダーを務めることについて、社会的に高く評価すること	女性自身の参画意識を高めるため、リーダーを養成する研修を行うこと	その他	特になし	わからない	
全体		1,339	50.9	42.8	31.1	27.5	13.3	1.8	3.9	9.4	
性×地域別	女性	能登北部	41	58.5	34.1	41.5	34.1	2.4	0.0	2.4	7.3
		能登中部	90	55.6	35.6	24.4	24.4	20.0	2.2	4.4	6.7
		石川中央	477	55.8	39.0	27.5	26.2	12.2	1.9	3.4	10.3
		南加賀	142	53.5	25.4	25.4	18.3	13.4	2.1	3.5	15.5
	男性	能登北部	37	48.6	43.2	37.8	32.4	10.8	2.7	0.0	5.4
		能登中部	55	36.4	50.9	36.4	32.7	23.6	0.0	5.5	7.3
		石川中央	367	45.8	51.5	35.1	30.8	13.9	1.9	4.9	7.4
		南加賀	119	46.2	56.3	37.0	29.4	11.8	1.7	3.4	9.2
性×未既婚別	女性	有配偶者	553	56.1	36.9	26.6	26.2	13.2	2.0	3.4	9.9
		離死別	61	55.7	26.2	36.1	27.9	21.3	0.0	1.6	4.9
		未婚	134	52.2	35.8	26.9	18.7	7.5	2.2	4.5	16.4
	男性	有配偶者	428	47.0	52.6	35.5	32.0	13.1	2.1	4.4	6.5
		離死別	26	46.2	57.7	34.6	23.1	23.1	0.0	3.8	0.0
		未婚	124	39.5	48.4	37.9	29.0	16.1	0.8	4.0	12.1

※グレーのセルは属性中トップの項目